

在宅福祉ふれあい事業 各支援事業のご案内

訪問理容美容サービス支援事業

● 理容サービス ●

(サービス内容) 調髪、顔そり
※利用料1回3,000円
(自己負担額1,500円)

協力: 北海道理容生活衛生同業
組合函館支部

<初めて利用した方からのご感想>
今まで家族がカットしていましたが、上手く整わず、短くしたかったので、7分刈りにすっきりしていただき、助かりました。
(70才男性)

目的 寝たきり等の方々に対し、理容師または美容師がご自宅に訪問し、散髪を行い、心身のリフレッシュを図っております。

対象 在宅で生活している高齢者および障がい者で、寝たきりもしくはそれに準じた状態で、理容店や美容店へ出向くことが困難な方。

※ただし、在宅福祉委員会が組織されている地域に居住している方となります。

助成額 1回1,500円(年4回まで)



● 美容サービス ●

(サービス内容) カット、ブロー
※利用料1回3,500円
(自己負担額2,000円)

協力: 函館美容業協同組合

<初めて利用した方からのご感想>
手早くカットしていただき、髪の毛等の後片付けも手際よく済ませていただきました。本当に感謝しております。
(91才女性)

ボランティア地域援助活動支援事業

【活動例】 障害者への支援活動(朗読、点訳、手話、要約筆記) / 高齢者への支援活動(認知症相談、施設慰問、介護予防体操) / その他(救命救急法の普及、傾聴、自殺予防) など

目的 函館市内の福祉活動を振興促進することを目的にボランティア活動を実践している団体に対し援助を行っております。

対象 ボランティアセンター登録団体かつ1年以上の福祉活動の実績がある団体

助成額 推進団体 上限10万円 実践団体 上限3万円

福祉教育推進養成事業

【活動例】 高齢者福祉施設への慰問(清掃、演奏、夏祭り出演等) / 回収運動(エコキャップ、リングプル) / ノーマリー教室 / 地域清掃活動 など

目的 児童・生徒の関心を高め、ボランティアの心、社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会での福祉活動に役立てることを目的にボランティア活動を実践している学校に対し援助を行っております。

対象 市内にある小学校、中学校、高等学校、特別支援学校

指定期間 5年間協力校として指定する **助成額** 1校あたり 上限7万円

健康・生きがいづくり教室開催支援事業

【活動例】 介護予防体操(ラダー体操、ふまねっと、函館賛歌体操、ヨガ) / カーリンコン / 健康食講座 / 嚥下予防体操 など

目的 高齢者等が健康保持・増進を図り、明るく生きがいのある生活に結びつけることを目的とし、教室開催に対し助成を行っております。

対象 在宅福祉委員会

助成額 上限10,000円(1団体 年1回まで)

委員等自主研究開催支援事業

【活動例】 高齢者福祉施設見学 / 福祉制度等の講演、講習会 / 高齢者の食事学習会 など

目的 在宅福祉ふれあい事業推進する協力員(在宅福祉委員等)の意欲の向上および連帯意識の高揚を図ることを目的とし、自主的に開催する研修等に対し助成を行っております。

対象 在宅福祉委員会、在宅福祉委員会未設置の町会・自治会 等

助成額 上限15,000円(1団体 年1回まで)

世代間交流支援事業

【活動例】 夏休みラジオ体操 / 流しそうめん / クリスマス会 / もちつき会 / 音楽演奏会 / スポーツ交流会 など

目的 地域においてあらゆる世代の方々を手を携え、共に支え合う地域づくりを目指すことを目的とし、世代間交流事業に対し助成を行っております。

対象 市内に所在する、高齢者または児童がいる福祉関係団体(町会、在宅福祉委員会、児童館等)

助成額 上限15,000円(1団体 年1回まで)

各支援事業は年度予算の範囲内での助成となります。申請方法や詳細につきましては、気軽にご相談ください!

社会福祉法人函館市社会福祉協議会 事業課 地域福祉係

電話 0138(23)2226 平日(月~金) 8時45分~17時30分まで



堀川町在宅福祉委員会
岩本 秋氏



堀川町在宅福祉委員会
加藤 いく子氏



桔梗在宅福祉委員会
斉藤 勝久氏



湯川町丁在宅福祉委員会
坪谷 淑子氏



日吉東部在宅福祉委員会
會田 信夫氏



湯川三丁目在宅福祉委員会
本木 久子氏

地域で支え合い
安心して
暮らせる毎日を!

在宅福祉ふれあい事業 活動だより

在宅福祉委員20年奉仕功労者の顔

函館市社会福祉協議会では永年、在宅福祉委員としてご尽力いただいた皆さまへ感謝状を贈呈いたしております。令和2年度は残念ながら社会福祉大会が中止となり、被表彰者の皆様へは手渡しするよう形となりましたが、20年ご尽力いただきました委員の方々のお写真を撮影させていただきましたので、一部ご紹介いたします。この20年間の活動については、「気がついたら20年経っていた」「簡単にやめるわけにいかない」「動ける限り自分のためにも頑張りたい」等というお言葉がありました。昔と今の時代の変化を感じながらも、事業の主旨を理解し、活動を継続してご協力いただいている様子に心が打たれました。本当にありがとうございます。

※上記の方々を含む令和2年度被表彰者名は、社協だより(令和3年新春号)に掲載しております。

(発行) 社会福祉法人 函館市社会福祉協議会

〒040-0063 函館市若松町33番6号 あいよる21内 TEL23-2226 FAX23-2224

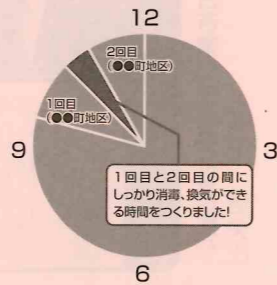
コロナ禍での在宅福祉ふれあい事業 ～“できる”支援を考える～

今回、在宅福祉ふれあい事業の各活動は新型コロナウイルス感染症の流行により、いろんなことを考える機会となりました。お互いの安全を守りながらも、できる支援を様々な形で実施してきております。在宅福祉委員会等よりお聞きした活動の様子をご紹介します。

～会食・茶話会編～

■ コロナが落ち着いた時に、間隔をあげ、同じ方向を向いて落語会を開催しました。
また、いつかの開催のために、アクリル板を用意し、密を避け、正面を向いたままのゲーム大会を企画しています。(こんな時だからこそ笑顔になってもらうための企画をどうやったらできるか考えています!)

■ 三密回避の為、参加を地域毎に分け二部制にして進めました。
十分な間隔をとり、イスに座ってのステップやサザエさんの歌にあわせて手を動かす軽い体操を行いました。短い時間でしたが、皆さん、楽しんでいただけたようです。



■ 会食が出来なくて悩んでいましたが、“健康散歩”“お元気散歩”という名で会館まで来ていただき、あまりにも天気が良かったので外にイスを並べ、少し休憩しながら日光浴も楽しみました。元気な様子を確認し合うことができ、とてもよかったです。



■ 暖かくなったら屋外で楽しむことを考えています。近くの公園まで歩き、公園内で体操やゲームを楽しみ、青空の下で太陽の光を浴びてお弁当を食べたいと思っています。

※開催された委員会はその場での飲食は避け、お持ち帰り用に準備したお弁当やお茶菓子をお渡しして解散しているようです。

～ボランティア編～



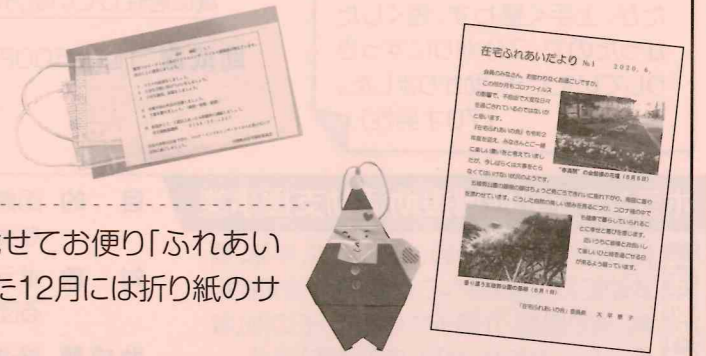
■ ボランティア団体のさわやかミドルの会は音程やリズムの取り方、懐メロや替え歌等を通して楽しいカラオケ指導を行っております。
コロナ禍でも安全に安心して楽しむカラオケを実践しました。
マスク、マイク消毒、ソーシャルディスタンス、換気をしっかり守って楽しい時間となりました。

ポイント 歌う場所、マイクを置く場所を決め、歌い終わった人は消毒してから席へ戻ります。

■ 北海道函館五稜郭支援学校はボランティア協力校として清掃や接客の専門技術を生かしたボランティア活動に取り組んでいます。近隣の町会館や陸上競技場等の清掃活動では、清掃前、清掃後の手に触れるところの消毒をはじめ、掃除道具は使い回しをせず、個々に使用できるように配置し、生徒同士のソーシャルディスタンスを保ちながら十分に気を付けて活動を行いました。

～訪問安否確認サービス編～(ふれあい訪問)

- 特に持病のある人とは、ドア越し、インターホーン越しの会話としている。また、訪問カードを活用しました。
- 訪問回数を減らし、電話対応(お元気コール)を実施しています。
- 本格的な冬に入る時に、マスク2枚にコロナ関連の注意事項と励ましの言葉を添えて配布し、注意を促しました。
- 直接会えない分、地域の写真を載せてお便り「ふれあいだより」を作成し配布しました。また12月には折り紙のサンタクロースも添えました。



～研修編～

- 在宅福祉委員会と老人クラブで地域高齢者の健康づくり(運動不足解消、気分転換、コロナ禍でもできる交流等)の為のお散歩マップを作成しました。
作製には近隣の高校、病院、地域包括支援センターにご協力いただき、みんなで実際に街を歩き、3つのコースができあがりしました。コースによって、楽しむポイントやあぶないところ等を詳細にし、高校生による手書きのマップがとても魅力的です。
出来上がったお散歩マップは地域高齢者に配布し、各自実践しています。



在宅福祉委員会活動状況(令和3年1月現在)

在宅福祉委員 1,828名

訪問安否確認サービス

委員会数 122 委員会 対象世帯数 5,438 世帯



必須のサービスとして、週1回程度訪問し、声かけや相談等を行い、安否の確認や孤独感の解消を図っています。

※各サービスの写真は過去の写真を使用しております。

家事援助サービス

委員会数 43 委員会 対象世帯数 505 世帯



一時的に必要な身のまわりのお世話(ゴミ出し、買い物、荷物の移動、除雪等)をします。原則として介護保険等のサービスと重複しないサービスを提供します。

給食サービス(会食会・茶話会)

委員会数 100 委員会 対象世帯数 4,764 世帯



町会館等を会場として開催し、対象者の方々に足を運んでいただくことで、引きこもり防止や孤独感の解消を図っています。

在宅副委員会の活動を紹介する動画を是非ご覧下さい!!

はこだて
福祉チャンネル
在宅福祉委員会の活動

はこだて福祉チャンネル 検索